

科目名	公衆衛生看護学概論			ナンバリング	CHN161	授業形態	講義
対象学年	3 年	開講時期	後期	科目分類	自由	単位数	2 単位
代表教員	稲毛映子	担当教員					

授業の概要	地域で生活している人々の健康を維持・増進していく公衆衛生看護活動の理念と歴史、地域で活動する看護職の活動分野・役割について理解する。地域における母子、成人、高齢者の健康保持に影響を及ぼす要因とその動向を把握し、健康障がいとその予防対策を学修する。また、地域社会における障がい者(児)保健、精神保健、難病保健、感染症保健の現状と人々が抱える健康課題を把握し、保健師としての役割および個人、家族、集団、地域社会への具体的な援助方法について学修する。						
到達目標	1) 公衆衛生看護活動の基本理念・目的、歴史的変遷を説明できる。 2) 公衆衛生看護活動について、ライフステージ別、あるいは健康課題別にその活動内容を説明できる。 3) 公衆衛生看護活動で活用する社会資源・法律・制度について説明することができる。						
学習のアドバイス (勉強方法、履修に必要な予備知識など)	講義で使用するスライド資料は、manab@ISUからPDFファイルとしてダウンロードできる。 予習(資料の閲覧)と復習(レポート作成)を必ず行うこと。予習と復習それぞれおよそ90分の学習時間を確保すること。						
ディプロマポリシーとの 関連	【看護学部看護学科のディプロマポリシー】						
		1. 広い視野と豊かな教養に基づき、看護の担い手としてふさわしいヒューマニズムと倫理観を身につけている。					
		2. EBN(Evidence Based Nursing: 根拠に基づいた看護)に基づき、自律的に看護を実践することができる。					
	○	3. 生命の尊厳と人権を尊重する姿勢を身につけ、多職種と連携・協働することができる。					
	○	4. 地域の健康課題に関するニーズをとらえ、災害時の援助活動も含め、積極的に地域貢献できる能力と態度を身につけている。					
		5. 看護専門職として科学と看護の進展に対応するために、生涯にわたって持続可能な主体的学修ができる。					

標準的な到達レベル(合格ライン)の目安	理想的な到達レベルの目安
1) 公衆衛生看護活動の基本理念・目的、歴史的変遷を説明できる。 2) 公衆衛生看護活動について、ライフステージ別、あるいは健康課題別にその活動内容を説明できる。 3) 公衆衛生看護活動で活用する社会資源・法律・制度についてその名称を列举できる。	1) 公衆衛生看護活動の基本理念・目的、歴史的変遷を具体的活動や出来事を示しながら説明できる。 2) 公衆衛生看護活動について、ライフステージ別、あるいは健康課題別にその活動内容を説明でき、さらに課題を指摘したりその課題解決にむけた改善案を考察することができる。 3) 公衆衛生看護活動で活用する社会資源・法律・制度について名称だけでなく具体的内容を説明することができる。

成績評価観点 評価方法	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	その他	評価割合
定期試験(中間・期末試験)	○						70%
小テスト・授業内レポート	○	○					10%
宿題・授業外レポート	○						10%
授業態度・授業への参加			○	○			10%

課題、評価のフィードバック	・感染症課題レポートは授業内でフィードバックを行う。 ・小テストの正答および解説をテスト後にmanab@ISUIにアップするので、復習に活用する。
---------------	---

	回次	テーマ	授業内容	備考
授業計画	第1回	公衆衛生看護の理念	公衆衛生看護の定義や理念、公衆衛生看護活動プロセス、公衆衛生看護に関連する主要な概念(予防医学、ポピュレーション/ハイリスクアプローチ、PDCAサイクル)を説明する。	
	第2回	公衆衛生看護の対象	公衆衛生看護の対象の特徴、対象としての個人・家族、グループ・組織・地域について、事例をもとに説明する。	
	第3回	公衆衛生看護活動の展開(地域アセスメント)	地域診断の定義・目的、手順、地区踏査・地区視診、アセスメントに用いるデータについて説明する。	
	第4回	公衆衛生看護活動に関連する理論・モデル	公衆衛生看護活動に関連する理論やモデル(プリシード・プロシード・モデル、コミュニティ・アズ・パートナー・モデル)を概説する。	
	第5回	母子保健活動①	母子保健福祉に関する法律と施策、そして母子保健における今日的課題(育児支援、児童虐待対策)を概説する。	
	第6回	母子保健活動②	わが国で行われている乳幼児健康診査の種類を概説する。また、各健診における発育・発達の観察ポイントならびに保健指導のポイントを説明する。	
	第7回	成人・高齢者保健活動①	成人の特徴と健康問題、健康増進や生活習慣病予防対策に関連する法律・制度・政策等を説明する。	〈小テスト〉範囲;第1～6回
	第8回	成人・高齢者保健活動②	生活習慣病の定義、生活習慣病予防対策(特定健康診査・保健指導、がん検診)を説明する。	
	第9回	成人・高齢者保健活動③	高齢者の特徴と健康問題、介護保険制度を概説する。	
	第10回	成人・高齢者保健活動④	介護予防の理念・目的、介護保険制度における介護予防事業の概要、地域包括支援センターの機能について説明する。	
	第11回	精神保健、障がい児・者保健活動	わが国の精神保健対策ならびに障がい児・者保健福祉対策の概要、地域精神保健活動の具体例と保健師の役割について説明する。	
	第12回	難病保健活動	わが国の難病対策を概説し、事例を通して保健師の活動のあり方を考察する。	〈小テスト〉範囲;第7～11回
	第13回	感染症保健活動①	わが国の感染症対策の概要と、保健所の役割を説明する。	〈課題〉代表的な感染症について、感染様式、症状、対策などをレポートとして提出。詳細は別途指示する。
	第14回	感染症保健活動②	感染症対策各論(結核、HIV感染症/AIDS、麻疹等)について説明する。	
	第15回	公衆衛生看護の歴史、日本の健康政策・制度の変遷	公衆衛生看護の場の特徴、保健師活動の変遷について説明できる。	
	試験	期末試験を実施する。		
授業の進め方		・講義を中心に、一部グループディスカッションを取り入れて授業を進める。 ・講義資料は、manab@ISUからダウンロードする。 ・小テストを2回実施する。		
授業外学習の指示		・次回授業で予定されている学習内容について、教科書該当ページを読んでおく。 ・授業の中で十分に理解出来ていなかった箇所は教科書・資料を用いて復習をする。授業内で触れた内容について、キーワードを整理しまとめる。 (授業外学習時間: 毎週 90 分)		

教科書	標美奈子ほか:標準保健師講座 1 地域看護学概論 最新版 医学書院、中谷芳美ほか:標準保健師講座3 対象別公衆衛生看護活動 最新版 医学書院
参考書	厚生労働統計協会:国民衛生の動向(最新版) 医療情報科学研究所編:公衆衛生がみえる2018-2019 メディックメディア
参考URLなど	
その他	